

# 災害から命を守るために

昨年は全国的に多くの災害が発生し、村上市でも大雨や台風により風水害や土砂災害が多く発生しました。被害を最小限に食い止め、命を守るためには、あらかじめ家の周りの危険箇所のチェックや非常持ち出し品の確認など日ごろの準備をしておくことと、気象情報などの情報収集や早めの避難行動がとても大切です。

●問い合わせ 総務課危機管理室 ☎53-2111 (内線3142)

## 今すぐ確認してほしいこと

□ 自宅や職場、通勤・通学経路など身の回りの危険を確認

危険箇所や避難方法、防災情報の入手方法は、対象地域の各世帯に配布してあるハザードマップで、ご確認ください。手元がない場合は、ホームページまたは総務課、各支所地域振興課で入手できます。

□ 避難場所までの避難ルートをチェック

避難場所までの安全なルートを確認しておきましょう。夜間の安全なルート「豪雨災害時は冠水しないか」「土砂災害に巻き込まれる可能性はないか」など、事前に確認しておきましょう。



また、安全に避難ができないと思われる場合は、少しでも安全な場所にとどまり、無理な避難はやめましょう。

□ 非常食はなじみのあるものを

非常食には、普段口にしているレトルト食品やお菓子が保存用として販売

されていますので、お店などで確認してみてください。

非常時に普段口にしないものを食べるより、自分の好きなものや馴染みのある味のものを食べることで、精神的に落ち着くこともあります。



また、缶詰やレトルト食品などを普段より多めに購入しておくことも大切です。それを災害用と考えず、普段のストックを少し多めにする感覚で購入しておき、消費したら買い足すということを続けていくことで、自然と備蓄を生活のなかに取り入れることができます。(ローリングストック法)

□ 安否確認の方法をチェック

災害発生時に家族や大切な人と一緒にいるとは限りません。災害時は、電話回線が混み合っており、すぐに連絡がつかない場合があります。あらかじめ、安否確認の手段を話し合っておきましょう。

災害用伝言ダイヤル(1717)

安否情報を録音することで、全国各地からでもその音声を再生(確認)することができます。

防災情報を得るために

## 「むらかみ情報ねっと」 に登録しましょう

携帯電話やパソコンに防災、防犯、火災などの情報をメールでお知らせします。(登録無料、受信費用は自己負担) 下記のURLまたはQRコードから登録できます。  
<http://www.city.murakami.lg.jp/mobile/mailmaga/>



※迷惑メール対策により受信できないと思われるメールアドレスが増えています。今一度「city.murakami.lg.jp」のドメインからメール受信できるよう設定の確認をお願いします

## 楽しみながら、ゲーム感覚で学ぶ 地域の防災力アップに

# 出前講座の活用を

町内会やPTA行事などおおむね10人以上の会合で、地域の特性にあった災害対策や準備方法を楽しみながら学べます。料金は無料です。



### メニュー

番号	講座名	講座内容	所要時間
1	想像力を高めて「もしも」に備える～クロスロード～	災害発生時に「どう考え、どう行動したらよいのか」を、カードゲーム形式で考えて災害対応力を身に付けます。	90～120分
2	避難所運営ゲーム	避難所などで起こるさまざまな出来事にどう対応していくかを、ゲーム感覚で模擬体験します。	90～120分
3	防災クイズ	災害発生時の対応についてクイズに解答しながら学びます。	60分
4	DIG (災害図上訓練)	地図を囲みながら、ゲーム感覚で災害時の対応策を図上で考える訓練です。	90～120分
5	なますの学校 [小学生向け]	ゲーム感覚で紙芝居をしながら、防災知識を学びます。	90～120分
6	防災講話	自助・共助の重要性や災害対応の基礎知識などについてお話しします。	60～90分

●申し込み 総務課危機管理室 ☎53-2111 (内線3142)

### 災害用伝言板 (WEB171)

<https://www.web171.jp>

パソコンやスマートフォンから電話番号を入力して安否情報の登録、確認を行うことができます。

また、ツイッター、フェイスブック、無料通話アプリなどたくさんある連絡手段のうち、どの手段で連絡を取り合うのかを事前に話し合っておくことも大切です。複数の連絡手段を用意しておく方法もあります。

### 風水害に備えて、家屋の浸水対策を

雨が降っている時や浸水後に土のうを設置しても、防水や排水の効果は期待できません。過去に浸水したことがある場所は、近所で協力して事前の浸水対策をお願いします。人命に関わる被災現場を除き、市から個々の家屋への浸水対応(土のう配達など)は行いませんので、各自で土のうを準備してください。

### 「避難準備・高齢者等避難開始」 情報発令時の心得

市では災害の危険が見込まれるときに「避難準備・高齢者等避難開始」情報を発令します。発令した際には、

非常持ち出し品のほか「非常食および食べ慣れた食事」「着替えなどの衣類」「使い慣れた毛布」など身の回り品を持って避難の準備を始めてください。

### 災害時の役割 (自助と共助)

災害が発生したときは、自分の命は自分で守る「自助」が基本となります。自分が助からないと、大切な人を助けることはできません。



助けに来た人が二次災害にあって守れるようになります。自分の身は自分で守れるようにしましょう。また、隣近所や地域で助け合っ「共助」がなければ助からない場合があります。日頃から隣近所で声を掛け合っ、災害時に助け合える人間関係を築いておきましょう。また、地域に自主防災組織がある場合は、積極的に参加するようにしましょう。